

未来に伝えたい「まいばらの水」12選

vol.9

深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。

このコーナーでは、「未来に伝えたい『まいばらの水』」に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしていきます。水道の蛇口をひねれば当たり前のように水が出てくる現代の暮らしの中で、忘れられつつある水や水を育む森の大切さを改めて感じていただき、米原の美しい水環境を未来へ引き継いでいくきっかけとなることを願っています。

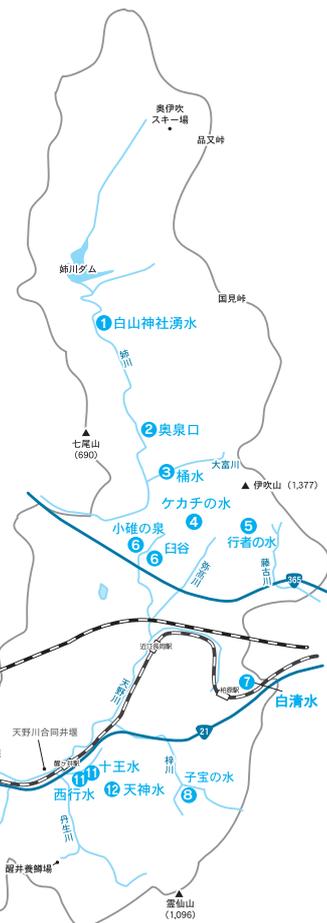
宇賀野湧水群

宇賀野は地下水が豊富に湧き出る集落で、昔は各家に井戸があり、飲料水や生活用水として利用さ

れ、また竹林から湧き出る美しい水は集落内を流れるなど、人々の生活と密接な関係にありました。かつて竹は、野菜や花の支柱、刈り取った稲を田の中で干すための稲架など農業に広く利用されていましたが、時代の変化と共に利用されなくなり、竹林は荒廃して藪と化してしまいました。そこで湧き水を活かした自然公園として再生されたのが「神明公園」です。神明公園や近くの竹藪、坂田神明宮、戦国武将山内一豊の母・法秀院が住んでいた長野家などからは、今も清水が湧き出ており、その水が集落の中を川となつて流れ、琵琶湖へと注いでいます。坂田神明宮は五穀豊穡に靈験のある神社として知られ、境内にあ

る「天の真名井」と呼ばれる井戸の水は、いくら汲み上げても尽きることがないといわれています。古来清らかな水に与えられた最大級の敬称で、日照りのときにこの水をかき出すと雨が降り、塩をまくと晴天になるといふ言い伝えが残されています。

(硬度91・8mg/l 中硬水)



▲神明公園



▲長野家から流れる清水「生水川」



まいばらの水
イメージキャラクター スイナちゃん

お問い合わせ 経済環境部 環境保全課 (伊吹庁舎) ☎58-2230 FAX 58-1630